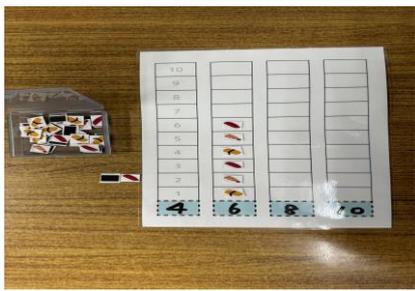
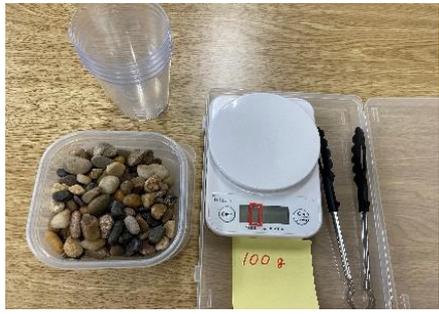


# 算数・数学

R6保土ヶ谷支援学校

小学部5年	「色と数の対応」	かず
教材教具の紹介		
使い方 (使用時の注意)	袋に書かれた色と数を読み取り、トレーの中からスプーンをとって袋に入れる。 違う種類の具体物を入れたりして難易度を調整することができます。	
おすすめポイント どんな力がつくか	名詞と数量の理解を同時に伸ばすことができます。 複数の情報を読み取る力 数量 平仮名の読み	
太田ステージ	ステージⅢ-1	

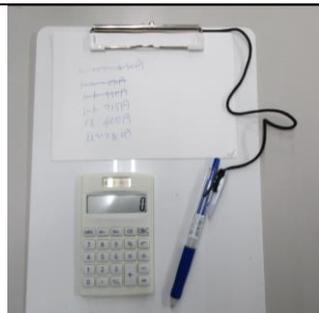
中学部1年	「いくつかな？」	かず
教材教具の紹介	お寿司屋さんの気分で、数をかぞえることができます。	
使い方 (使用時の注意)	ラミネートをしているので生徒の理解度や様子に合わせて問題の難易度を変更できます。一題目は、数の手本入りで取り組みやすく工夫しました。	
おすすめポイント どんな力がつくか	数の概念・数量の理解	
太田ステージ	ステージⅢ-1	

高等部2年	「はかりを使って増やす・減らす・計る」	かず
教材教具の紹介	デジタルスケールがあれば、100均で水槽の石、トング、カップを買ってすぐできます！	
使い方 (使用時の注意)	計りの上にカップを載せて、100gを目指して石をトングで入れていきます。	
おすすめポイント どんな力がつくか	生徒の実態に合わせた狙いで行います。 例) ①トングを使って石をカップに入れる課題②「増やして」「減らして」の指示に合わせて石を増減させる課題③計りの数字を読む課題④石100グラムを計る課題…など◎	
太田ステージ	ステージⅢ-1	

高等部1年	「お金の学習」	教科
教材教具の紹介	3種類の硬貨について、位取りも含めて学習できるボードです。	
使い方 (使用時の注意)	①硬貨を種類別に弁別して並べる。 ②指示された金額とピッタリになるように硬貨を並べる。 ③複数の金額を足し算、引き算する。	
おすすめポイント どんな力がつくか	生徒の実態に合わせて、使い方を変更できる。本物の硬貨を持ちても良い。 1円や10円が10枚になったら次の位の硬貨と交換、という学習にも繋がられる。	
太田ステージ	ステージⅢ-2	

中学部3年	パズル	その他
教材教具の紹介	「3×3」(赤・青・黄・緑)のサイコロを振る。その画面を見て、同じ図(模様)を作るモノ。 「5×5」(上記同様の色)が配置されている。ひとマスのみ空いている。各色のブロックを上下左右に動かして、「3×3」で出た画面と同じモノを作る。 ※実際触って、動かしてみてください。	
使い方 (使用時の注意)	上記参照	
おすすめポイント どんな力がつか	認知力	
太田ステージ		

高等部2年	「お金の支払い」	かず
教材教具の紹介	100程度の金額を支払うことが目標の生徒に対して、金種の弁別、数字で表示された金額を硬貨で出す際の確認、お金の読み方の確認をするため、この教材を用意しました。	
使い方 (使用時の注意)	位取りのトレイは金種の弁別。めくり表は数字で表示された金額を硬貨で出す際の確認、お金の読み方の確認を行うときに使います。キャッシュトレイは、表示された金額を硬貨で出す際に使います。	
おすすめポイント どんな力がつか	表示された金額の理解、100円程度のお金の支払い。	
太田ステージ	ステージⅢ-2	

高等部3年	「メモ・電卓つき画板」	その他
教材教具の紹介	計算が苦手、所持金額内で買えるかわからないを解消するツール	
使い方 (使用時の注意)	メモ欄に値段等書いて、所持金額内で買えるか、電卓を用いて計算・確認する	
おすすめポイント どんな力がつか	一人で考えながら買い物ができる	
太田ステージ	ステージⅣ前期	

支援室	ミニペグ	手の操作、ことば、かず
教材教具の紹介	動作性の課題でよく使用されるペグですが、言語や数の学習にも使えます。	
使い方 (使用時の注意)	<b>ステージⅠ</b> ・見本に合わせて色分類（色ごとに並べる） <b>ステージⅡ</b> ・構成（見本と同じように並べる） <b>ステージⅢ-1</b> ・言葉での色の分類 ・多少の比較の理解 ・規則性に気づく（順序に従い、続きを並べる） ・数と物の対応 <b>ステージⅢ-2</b> ・数の概念（数える、同数の対応） ・数量の比較 ・数の保存（見かけにまどわされず、同数とわかる） ・数の合成・分解（たし算・ひき算の基礎がわかる） ・分配（～個ずつの理解）	
おすすめポイント どんな力がつくか	手指の巧緻性（つまむ） 目と手の協応 言語理解・表出 数・量の概念	
太田ステージ	ステージⅠ～Ⅲ-2	